

トゲアナバチ族 (トゲムネアナバチ族) Oxybelini (ギングチ
バチ科, ギングチバチ亜科) の検索

寺山 守

ギングチバチ類に体型が似る中形から小形のハチであるが, 日本産のものは, 前伸腹節基部中央に後方に突出する明瞭な突起を持つことで, ギングチバチ科の他の属とは容易に区別される. また, 小盾板の両側縁は稜縁をなし, 後盾板には両側分に側方に突出する葉片が見られる. 前翅の肘室は 1 つのみで, 径脈と中脈の融合部は不明瞭となる. 後翅には明瞭な脈室がある.

本族は世界に 15 属が知られ, 日本にはトゲアナバチ属 (トゲムネアナバチ属) *Oxybelus* に属する 4 種が生息する. 本属は, 2011 年段階で世界に 262 種が記録されている.

トゲアナバチ属の種検索

1a. 前伸腹節基部中央の突起は小さく, 三角形状で, 長さは幅とほぼ等しいか, 幾分長い程度.

..... サクラトゲアナバチ *O. lewisi*

1aa. 伸腹節基部中央の突起は長く, 長方形状で, 長さは幅の 2 倍以上.

..... 2

2a. 腹部には 1 対の黄色紋が第 1 背板のみに見られる.

2b. 前伸腹節基部中央の突起は細く, 背方から見て, 先端に向かうにつれて幅が狭まる.

2c. メスの中脚と後脚の腿節, 脛節は黒色で, 黄斑はない.

..... フタモントゲアナバチ *O. bipunctatus*

2a. 腹部の第 1 節から第 4 節, あるいは第 5 節には, それぞれ 1 対の黄色紋が見られる.

2b. 前伸腹節基部中央の突起の両側縁は, 背方から見て, ほぼ平行となる.

2c. 中脚と後脚の腿節, 脛節には黄色部がある.

..... 3

3a. 腹部末端の背板は黒色.

3b. メスの中脚, 後脚脛節は黒色で, 一部に黄斑がある.

3c. メスの頭盾前縁は弧状に突出する.

3d. オスの後脚脛節外面は基半が黄色で, 前半は黒色.

3e. オスの頭盾前縁は中央部で強く凹み, 凹みの中央には突出部分がある.

..... ヤマトトゲアナバチ *O. strandi*

3a. 腹部末端の背板は赤褐色.

3b. メスの中脚, 後脚脛節外面は大部分が黄色.

3c. メスの頭盾前縁はほぼ直線状.

3d. オスの後脚脛節外面は全てが黄色.

3e. オスの頭盾前縁は概ね直線状で, 弱く弧状に凹む程度.

..... ニッポントゲアナバチ *O. nipponicus*

フタモントゲアナバチ *Oxybelus bipunctatus* Olivier, 1812

体長はメスで 6-7mm, オスで 5-6mm. 黒色で, 腹部には 1 対の黄色紋が第 1 背板のみに見られる (小形の個体では斑紋を欠く場合がある). 大アゴは赤褐色で, 先端は黒色. メスでは, 前脚脛節と付節は黄褐色, それ以外の部分は黒色で, 中脚と後脚の脛節, 脛節に黄斑はない. オスでは基節から脛節までは黒色で, 脛節と付節は黄色. メスの頭盾前縁は弱く突出し, 弧をえがく. オスではほぼ直線状で, 弱く凹む. 前伸腹節基部中央の突起は細く長く, 背方から見て, 先端に向かうにつれて幅が狭まる. 先端は鈍く尖る. 腹部は点刻がほとんどなく, 光沢が強い.

土中に営巣し, 5-10cm 程の深さの所に 2-3 個の房室を作り, イエバエ科, ハナバエ科, ヒラタアブ科等の双翅目を狩って蓄える. 狩りに出かける際には, 巣を仮閉鎖する. その場合, 狩った獲物は, 針で喉を刺し止めた状態で巣まで運ぶ. 年 1 化性で, 6 月下旬から 9 月にかけて出現する.

欧州では広く分布する種で, 日本では北海道のみに生息する.

分布: 北海道; ユーラシア, 北米.

サクラトゲアナバチ (ルイストゲムネアナバチ) *Oxybelus lewisi* Cameron, 1890

体長 5-7mm. 黒色で, 腹部第 1 背板から第 4 背板のそれぞれに 1 対ずつの黄紋がある. 第 1 背板のものは大きく顕著. 大あごは黄色で, 先端は褐色. 頭盾前縁はメスでは弱く弧をえがき, オスではほぼ直線状. メスの前脚脛節は主に黄色, 脛節は黄褐色. 中脚脛節の先端部は黄色, 脛節は全面で黄色. オスの前脚脛節と付節は黄色, 中脚脛節は黄色で付節は褐色, 後脚脛節の末端部と脛節基部は黄色で, 脛節の残りの部分黒

色.

前伸腹節基部中央の突起は小さく、三角形状で、長さは幅とほぼ等しいか、幾分長い程度で他種との区別は容易である。

河川敷等に生息し、砂地に巣をつくる。巣には複数個の房室が作られる。分布が限られており、まれ。

本種の基産地は Sri Lanka となっているが、おそらく日本の新潟産の標本をもとに記載されたものである(Tsuneki, 1968)。よって、本種の分布のインド、スリランカを誤産地として、本種の分布から除外する。*O. sakuranus* Tsuneki, 1966 は本種の同物異名。

分布：北海道，本州；台湾。

ニッポントゲアナバチ *Oxybelus nipponicus* Tsuneki, 1966

体長はメスで 5-6mm, オスで 4-5mm となり、本属の中では最も小形。黒色でメスでは腹部の第 1 節から第 4 節に、オスでは第 1 節から第 5 節に、それぞれ 1 対の黄色紋が見られる。大あごは黄色で、先端は褐色。メスの前脚は黄色、中脚脛節外面は黄色、後脚脛節外面は基方の 2/3 は黄色で残りは黒色。オスでは前脚、中脚、後脚の脛節外面は全てが黄色で付節も全て黄色。腹部末端の背板は赤褐色。メスの頭盾前縁はほぼ直線状。オスの頭盾前縁は概ね直線状で、弱く弧状に凹む程度。前伸腹節基部中央の突起は長く、長方形状で、長さは幅の 2 倍以上。両側縁は背方から見て、ほぼ平行となる。先端は切断状。

土中に営巣する。地下 5-10cm 程のところ室を作り、ハナバエ等の小形のハエ類を狩って運び込む。

台湾の個体群は亜種 *O. n. formosus* Tsuneki, 1968 とされている。

分布：本州：台湾。

ヤマトトゲアナバチ *Oxybelus strandi* Yasumatsu, 1935

体長：メスで 6-8mm. オスで 5-7mm. 黒色で、メスでは腹部の第 1 節から第 4 節にそれぞれ 1 対の黄色紋が見られる、オスでは第 1 節から第 4 節に 1 対ずつの黄斑が見られ、第 5 節では 1 本の細い帯となっている。第 1 背板の黄色紋はより大きく明瞭。大あごは赤褐色で、先端は黒色。腹部末端の背板は黒色。メスの脚は黒色で、前脚、中脚、後脚脛節の基部に黄斑がある。オスの前脚と中脚の脛節は黄色、後脚脛節外面は基半が黄色で、前半は黒色となる。メスの頭盾前縁は弧状に緩やかに突出する。オスの頭盾前縁は中央部で強く凹み、凹みの中央には突出部分がある。伸腹節基部中央の突起は長く、長方形状で、長さは幅の 2 倍以上。

固い地面に孔を掘り，地下 2-7cm 程のところに 1 室のみの巣を作る．房室にはクロバエ科，ハナバエ科等の小形のハエを 4-8 頭入れる．フタモントゲアナバチとは異なり，巣の仮閉鎖は行わない．小形の餌は脚で支えて運び，大形の餌は，餌に針を刺した状態で巣まで運ぶ．日本産の本属では，本種のみが年 2 化性で，5, 6 月と 9, 10 月に出現する．

分布：北海道，本州，九州；朝鮮半島

文 献

- Tsuneki, K., 1966. New species of the genera *Trypoxylon* and *Oxybelus* in Japan, with some biological notes (Hym., Sphecidae). *Etizenia*, 16: 1-8.
- Tsuneki, K., 1968. Studies on the Formosan sphecidae. V. The subfamily Crabroninae. *Etizenia*, 30: 1-34.
- 常木勝次, 1946. ヤマトトゲアナバチ *Oxybelus strandi* Yasumatsu の生態追研. 1(2): 81-85.
- 常木勝次, 1951. フタモントゲアナバチ *Oxybelus bipunctatus* Olivier, 1911 の習性 (附. *Oxybelus* 属の獲物の運搬法について). *生態研究*, 3(9): 63-74.
- Tanaka, Y., 1985. Alternative manners of prey-carrying in the fossorial wasp, *Oxybelus strandi* Yasumatsu (Hymenoptera, Sphecoidea). *Kontyu*, 53: 277-283.
- 田仲義弘, 1986. 日本産トゲムネアナバチの生態. *インセクトリウム*, 23: 140-146.
- Yasumatsu, K., 1935. The *Oxybelidae* of Japan and Korea. *Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc.*, 14: 38-41.

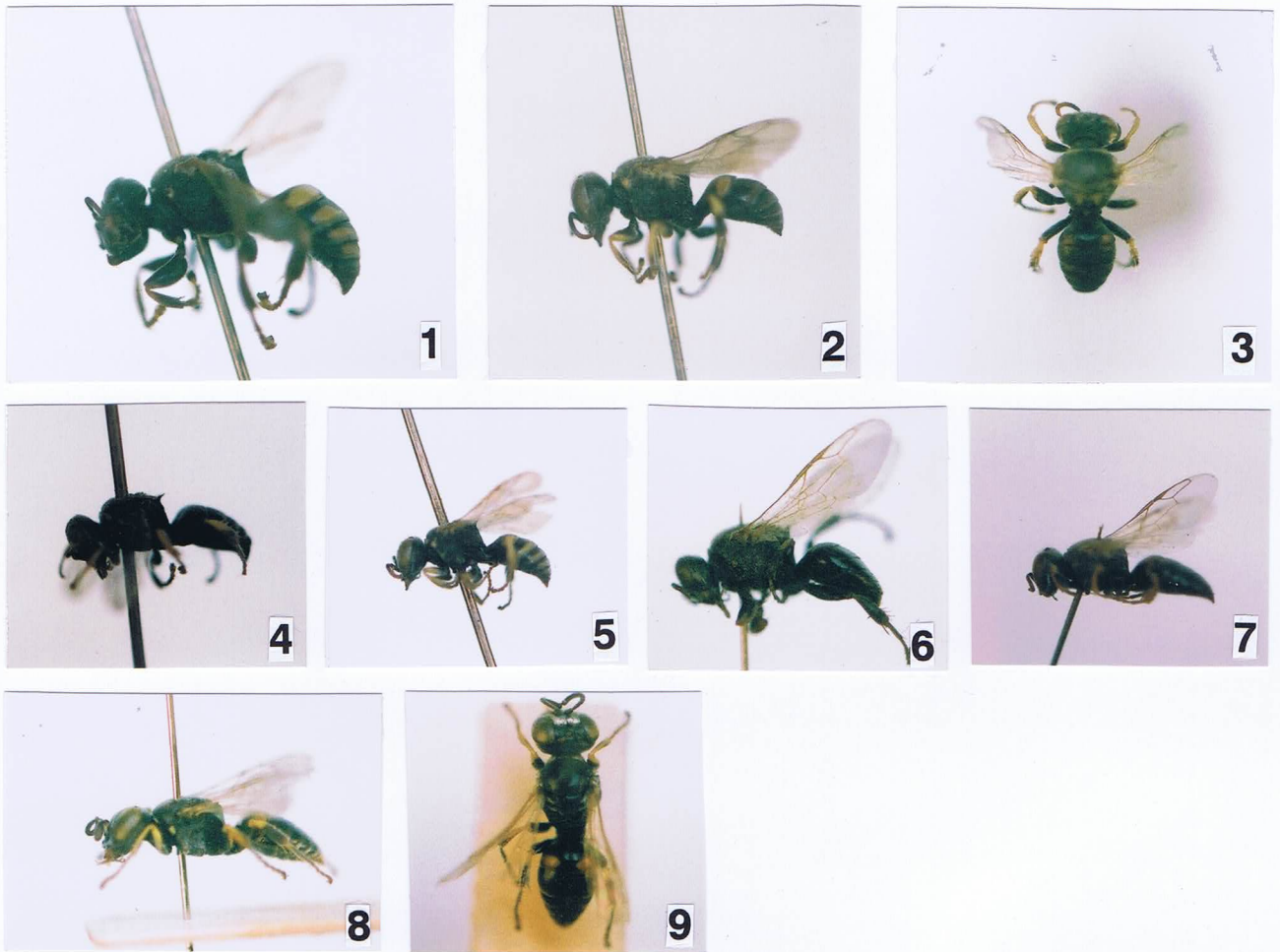


図 1-9. 日本産 *Oxybelus* 属. 1, 2, ヤマトトゲアナバチ *O. strandi*; 3-5, ニッポントゲアナバチ *O. nipponicus*; 6, 7, フタモントゲアナバチ *O. bipunctatus*; 8, 9, サクラトゲアナバチ *O. lewisi*. 1, 3, 4, 5, メス; 2, 5, 7-9, オス.